

第1部会【市民協働部門】 会議概要録

【開催概要】

- 名 称：平成26年度 第12回 東区自治協議会 第1部会
- 日 時：平成27年3月10日（火）午前10時～11時30分
- 場 所：東区役所 会議室A
- 出席者：五十嵐委員、大野委員、折笠委員、作左部委員、南委員、井川委員、湯本委員、佐藤委員、若槻委員、渡辺委員
（事務局）地域課、総務課

【審議内容】

1 平成26年度区自治協議会提案事業の評価

今年度取り組んだ「地域が行う総合防災体制の確立支援事業」について、別紙のとおり評価しました。

2 第1部会委員としての1年間の活動を振り返って

1年間の活動を振り返り、「今後の課題として、自治協議会委員のレベルアップを図る必要がある。」「もっと飛び出ていくアクティブな部会を目指したい。」などの意見が出ました。

平成27年3月25日

区自治協議会提案事業 事業評価書

東区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	地域が行う総合防災体制の確立支援事業 【事業費予算 3,405千円】
事業目的・概要	<p>【目的】 地域における避難誘導體制の支援と、地域の防災力向上を目的とする。</p> <p>【概要】 近隣の避難所や避難所までの距離などを掲載した「災害時ひなん誘導看板」を区内に設置する。 ミニワークショップを通じて、地域ごとの防災のあり方、誘導看板の設置箇所等を検証し、地域の防災意識を向上させる。</p>
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>1) 地域におけるワークショップの実施 対象: 3コミュニティ協議会(東山の下、大形、南中野山) 回数: 8回 内容: 避難経路の確認と避難誘導看板の設置箇所の検討</p> <p>2) 災害時ひなん誘導看板の設置 対象: 12コミュニティ協議会(8コミ協設置済み、4コミ協設置予定) 枚数: 435枚</p> <p>3) 避難所の消耗品の充実 29避難所に、ランタン5個、ラジオ1個ずつを購入して設置</p>
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	<p>1) ワークショップについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施コミュニティ協議会が、12コミ協のうち3コミ協に留まったことは残念である。 ・ワークショップを通じて、地域の実情を知ることができ、また、自治協議会の活動を知ってもらうことができて良かった。 ・ワークショップを実施したコミュニティ協議会は、看板の設置率が高かった。 <p>2) 災害時ひなん誘導看板について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見る人の視点に立った、分かりやすい看板を考えることができて良かった。 ・設置した看板が時間の経過とともに劣化や毀損等し、看板としての機能を保てなくなった時に、どのように対応するかが課題である。 <p>3) 避難所の消耗品について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業を展開していく中で、避難所の消耗品が不足しているという課題を把握し、消耗品の充実を図ることができて良かった。 <p>4) 全体を通じて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災を機に防災に対する関心が高まっている中での当該事業は、地域の防災力向上に寄与することができた。 ・コミュニティ協議会の中で温度差があったことは、コミ協と自治協議会委員の連携不足、また、コミ協と自治協議会が協働で問題を解決するという意識の低さの現れだった。 ・今後も、コミュニティ協議会の会長との意見交換会を実施し、コミ協との連携を図りながら事業に取り組んでいきたい。
備考	

第2部会【福祉・教育・文化部門】会議概要録

【開催概要】

- 名 称：平成26年度 第12回 東区自治協議会 第2部会
- 日 時：平成27年3月20日（金）午後2時～午後3時
- 場 所：東区プラザ 音楽練習室2
- 出席者：川島委員、和田委員、横山委員、齋藤委員、當麻委員、荒木委員、石垣委員
（事務局）地域課

【審議内容】

1 平成26年度自治協議会提案事業について（デジタル紙芝居制作事業）

完成した映像を確認しました。また、DVD100枚の配布先について下記のとおり再検討しました。前回の報告からの変更点として、新たに区内の県立幼稚園・市立保育園12か所を加えました。

また、前回は東区自治協議会委員に1枚ずつ配布する提案でしたが、希望者のみに1枚ずつ配布することに変更しました。

No	配 布 先	配布 枚数	備 考
1	区内各コミュニティ協議会	24	12 コミ協×2枚
2	区内小・中学校	20	20校×1枚
3	区内幼稚園、保育園	12	県立幼稚園 2、市立保育園 10
3	公民館	3	中地区公民館 1枚 石山地区公民館 2枚（木戸公民館分含む）
4	中央図書館（ほんぽーと）	2	
5	生涯学習センター	2	
6	東区自治協議会委員	30	希望者のみ（1枚まで）
7	貸出用予備	7	まちづくりセンター、社会福祉協議会等想定
	計	100	

2 平成26年度区自治協議会提案事業の事業評価について

今年度取り組んだ「東区を紹介するデジタル紙芝居制作事業」について、別紙のとおり評価しました。

3 その他

第4期の活動を振り返り、意見交換を行いました。「教育支援に関するリーフレットを配布したことで学校支援ボランティアが増えた。」、「デジタル紙芝居は東区転入職員の研修で活用してほしい。」等の意見がでました。

平成27年3月25日

区自治協議会提案事業 事業評価書

東区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	東区を紹介するデジタル紙芝居制作事業 【事業費予算650千円】
事業目的・概要	東区の魅力を広く周知するため東区を紹介するシナリオを検討・作成し、それに必要な写真等の資料を集めてデジタル紙芝居を制作する。紙芝居は区内コミュニティ協議会や小学校等に配布するほか、ホームページにて公開する。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	○「新潟市東区へようこそ～東区の魅力を探す物語～」の制作 シナリオの概要: 若い夫婦とその子どもが東区に引っ越しをし、同居することになった老夫婦との温かい交流をとおして、東区の魅力を紹介する。 時間: 18分17秒 DVD制作枚数: 100枚 配布先: 区内コミュニティ協議会や小・中学校、公民館 等 その他: 区ホームページ上でも公開
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	○登場人物の設定を東区在住の老夫婦と転居してくる若い夫婦・子どもにしたことで、さまざまな視点から東区の魅力を紹介した映像を制作することができた。 ○家族の交流をとおして東区の魅力を伝えることで、作り手が一方的に紹介するものでなく、視聴者も一緒に制作したようなイメージをもって見ていただけたと思う。 ○紹介した東区の魅力は産業・歴史・自然環境・施設などバランスの良い内容であった。事業をとおして東区の魅力について再認識することができた。 ○制作した動画は、ホームページ上で公開するだけでなく、機会を捉えて多くの方に紹介することが課題である。
備考	

第3部会【産業・環境部門】 会議概要録

【開催概要】

- 名 称：平成26年度 第12回 東区自治協議会 第3部会
- 日 時：平成27年3月12日（木）午前10時～10時45分
- 場 所：東区プラザ音楽練習室2
- 出席者：早福委員、田村委員、古泉委員、西方委員、渡辺委員、金子委員、清水委員
（事務局）地域課

【審議内容】

1 平成26年度区自治協議会提案事業の評価

今年度取り組んだ「東区の地域産業発見事業」について、別紙のとおり評価しました。

2 第3部会委員としての今期の活動を振り返って

今期2年間の活動を振り返り、「区バスの社会実験は地域から評価された。」「地域貢献活動情報集の作成など、協力してよいものができた。」などの意見が出ました。

平成27年3月25日

区自治協議会提案事業 事業評価書

東区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	東区の地域産業発見事業 【事業費予算 900千円】
事業目的・概要	区内の事業所が実施している地域貢献活動(見学会や職場体験の受入れ状況等)の情報に関する冊子を作成し、コミュニティ協議会や小・中学校等に配布するなどして、地域と産業との連携を深めるためのきっかけづくりとする。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	○「地域と産業の連携を深めよう 東区内事業所の地域貢献活動情報集」の作成 各事業所の地域貢献活動の内容、職場体験・インターンシップ、見学会、出張説明等の内容や申込み方法を掲載 ・掲載事業所数 63事業所 ・発行部数 400部 ・冊子 A4判フルカラー 36ページ(中綴じ製本) ・配布先 区内のコミュニティ協議会や小・中学校・高校・大学・特別支援学校、 情報提供企業 等
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	○地域課題の抽出方法 「どのような事業所が見学や職場体験を受け入れているか、実態がわからず、地域や小・中学校が苦勞している」といった委員意見から、産業の立地が多い東区において、事業所の情報(訪問の受入れ等を含む)が共有できていないことを地域課題の一つと捉え、取り組むこととした。 ○企画立案の評価 多くの事業所から情報を提供いただけるよう、区だよりやホームページでの募集、区役所窓口でのチラシ設置等、様々な方法で協力をお願いし、結果として63事業所から情報を提供していただくことができた。また、冊子の編集にあたっては、可能な限り、必要と思われる情報を盛り込むことや利用のしやすさに配慮した。 ○事業の公益性・実効性・効率性の評価など ・区内の産業に関心をもつきっかけとなり、区の誇りのひとつに加えてもらえるものと思う。 ・区内の事業所数の多さが再認識できた。 ・多くの事業所が地域貢献活動を実施していることがわかった。
備考	○今後の課題 ・情報の最新化、追加等の更新。